看護管理研修(付加研修含む)プログラム

●各研修は、普遍的な知識を学ぶ「講義」と、知識を実践に反映するための、演習(実践者の講義等含む)から構成しています。
●演習は、受講者が講義で学んだ知識の実践への反映を促進することを目指すものであり、グループワークや課題分析、実践者とのディスカッション等、方法・内容については、CNA教育機関が設定してください。
●看護管理研修(付加研修含む)を受講する際は、他の研修プログラム受講前に「1.看護管理概論」の受講を必須とします。ただし、ファーストレベル修了者は、看護管理概論の受講は必須ではありません。

付加研修	研修番号	研修名	関連する能力	ねらい	学習項目			時間数				必要な事前学習
					講義	演習(実践者の講義等含む)						
						実践者講義等	演習(例)	計	普遍的知識	実践者講義	演習	
	1	看護管理概論		社会保障制度と医療提供体制、看護サービスの特性をふまえた看護管理の概要を理解し、看護管理者の役割と意義・必要な能力について学ぶ	・我が国における社会保障制度と医療提供体制の体系 ・看護管理とは何か (看護管理過程やPDCAサイクル等、看護管理の意義：看護職の倫理綱領、看護業務基準 等) ・多様な看護の場における看護管理者の活動 ・CNAに求められる能力	・トップマネージャーの活動 (病院・施設等各1名)	なし	6	4	2	-	看護業務基準、看護職の倫理綱領
	2-1	組織マネジメント概論	組織管理・経営能力	看護管理者に必要な組織に関する基礎知識を獲得する	・組織の定義と組織文化 ・組織マネジメントの基礎知識 (組織における意思決定・OODA・方針決定、組織行動論の基礎知識、組織分析)	・看護管理における組織の活用 (部門における看護管理の実際 － 師長/リーダーの看護管理実践 ：病院・施設等各1名)	・自組織/自部門の組織分析	6	3	3		なし
	2-2	看護組織におけるリーダーシップ		看護組織を主導する看護管理者の役割及び多職種連携における看護管理者の役割を理解し、役割発揮のための方法を学ぶ	・看護管理者に求められるリーダーシップと多職種連携における看護管理者の役割 ・看護管理者の役割発揮のための方法 (倫理的意思決定・コンフリクトマネジメント・合意形成のプロセス・組織文化の醸成)	・多職種連携における看護管理者 の実践例	・事例を用いたワーク	6	3	3		看護業務基準、リーダーシップ、チームマネジメント、看護チームガイドライン、タスクシフト・シェアガイドライン
★	2-3	看護管理に必要な財務知識		看護管理者が持つべき財務管理に関する基礎知識を理解する	・財務管理とは ・施設における収支の仕組み (医業収支：診療報酬、介護報酬改定による影響) ・財務管理の枠組み ・財務諸表	・看護管理における財務的側面 (病院・施設等各1名) ＊収支に関する事項や報酬・制度 の関連等を含める	・自組織の診療報酬・介護報酬の施設 基準等を調べ看護管理との関連を考察	6	3	3		診療報酬・介護報酬とは 看護職のキャリアと連動した賃金モデル
	2-4	ヘルシーワークプレイス		スタッフが安全で健康に働くための職場づくりに必要な知識を獲得する	・労務管理の基本(労務管理に必要な関係法規 等) ・安心して働き続けられる職場環境と関係法規 ・ハラスメント防止 ・労働安全衛生管理(働きやすい労働環境)	・健康な職場づくりの取り組み 事例	・自組織で取り組みの必要な課題の整理と取り組み方針の検討	6	3	3		労働安全衛生法、労働安全衛生ガイドライン、ワーク・ライフ・バランスガイドブック 看護職のキャリアと連動した賃金モデル 看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン
	2-5	看護業務のマネジメント		看護管理者として、自部署の業務を効果的・効率的に進めるための手法を学ぶ	・看護業務におけるマネジメントとは (業務分担/業務指示含む) ・業務効率化の必要性と考え方(ICTの活用含む) ・マネジメント手法について (クオリティマネジメント、ナレッジマネジメント、プロジェクトマネジメントの基礎知識) ・問題・課題解決のための手法 (ロジカルシンキング・クリティカルシンキング 等)	・部署の業務改善をした看護師長 の事例	・自組織で取り組みの必要な課題の整理と取り組み方針の検討	6	3	3		看護業務効率化取り組みガイド
★	3-1	データに基づく質管理	質管理・質向上能力	データを活用して、看護ケアおよびサービスの質を評価・改善するための方法を学ぶ	・看護における質管理のプロセス (看護ケアおよびサービスの評価指標、質評価から改善する手法含む) ・医療・看護の質管理に必要なデータの収集と活用 ・病院以外の多様な機関でのデータに基づく看護の質管理 ・看護の質管理プロセスにおける看護管理者の役割	・DiNQLデータを用いた質管理の実際(看護管理者)	・自組織の看護の質を示すデータの収集と分析	6	3	3		EBN、看護の質評価の枠組み エビデンスに基づく(文献検索の方法、論文等のクリティーク)看護実践と改善
★	3-2	看護の質と看護提供体制の整備		・看護の質向上のための方法を学ぶ ・看護提供体制の整備の方法を学ぶ	・看護職の配置に関する諸制度 ・業務の標準化・業務基準の整備(＊病院以外も念頭に) ・看護記録 ・スペシャリストの活用 ・タスク・シフト/シェア(多職種連携・看護チーム)	・活動事例(病院/施設等各1名)	・自組織で取り組みの必要な課題の整理と取り組み方策の検討	6	3	3		看護職の倫理綱領、看護業務基準、看護記録の指針、タスクシフト・シェアガイドライン、看護チームガイドライン
★	4-1	生涯学習支援・キャリア形成支援の基礎	人材育成・キャリア開発促進能力	看護職を雇用する組織における生涯学習支援・キャリア形成の考え方を学ぶ	・生涯学習・キャリア形成に必要な理論 (キャリアアンカー、Onbording、経験学習、リフレクション等) ・『看護職の生涯学習ガイドライン』に基づく生涯学習支援の考え方 ・人材戦略とは何か (組織が行う生涯学習支援・キャリア開発に必要な知識)	・組織における生涯学習支援・ キャリア形成支援の実際	・自組織における生涯学習支援・キャリア形成支援の現状と課題の分析	6	3	3		看護職の生涯学習ガイドライン、キャリアデザインとは
	4-2	人材育成の方法		人材育成に関する役割発揮のための手法を学ぶ	・人材育成について ・新人看護職員研修とは ・組織における人材育成に関する手法の基礎 (教育計画の立案・研修デザイン・面談技法・OJTでの支援・動機づけ・学習する風土づくり)	・教育担当者の活動の実際	・新人/中途入職者への支援方法に関する課題と対応について検討	6	3	3		成人学習
★	5-1	安全管理	危機管理能力	自部署における安全対策・対応の考え方と方法を学ぶ	・医療安全施策と法制度 ・医療安全推進の方策 (安全管理体制の構築、未然防止・再発防止策と例、医療事故発生時の対応、安全文化の醸成)	・医療安全担当者と連携した看護 管理者の活動例(病院) ・施設における医療安全の活動例 (施設)	・安全文化の醸成に関する考察	6	3	3		医療事故の予防と発生時の対応、感染症予防・対策、サーベイランスとは、医療事故調査制度
★	5-2	災害対応		平時および災害発生時における看護管理者の役割をとるための考え方・方法を学ぶ	・災害の医療・看護に関する法制度 ・平時からの体制整備 (地域における災害対策と自組織の役割、災害時におけるBCPの考え方) ・発災時に求められる看護管理者の役割	・災害対応の実際 (地域防災計画など地域での備え、または、実際に経験のある看護管理者の活動)	・自組織および地域で想定される災害 と現在講じられている対策について 考察	6	3	3		防災・減災の考え方、災害の種類
	5-3	情報管理		看護管理において、情報を適切に管理・活用するための考え方を学ぶ	・ヘルスケアサービスにおける情報管理の必要性 (看護における情報の種類、情報管理の概要、情報管理における倫理的課題、情報取り扱いのリスク) ・看護業務における情報管理 ・看護管理における情報の活用 ・事故事例と対策	・情報管理における看護管理者の 活動	・自組織での現状と課題を抽出	6	3	3		個人情報保護法、看護職の守秘義務規定
★	6	制度・政策と看護管理	政策立案・推進能力	・看護に関連する諸制度を、看護管理に活かすための考え方・方法を学ぶ ・制度・政策実現のプロセスにおける看護管理者の役割を理解する	・看護に関する諸制度 (医療・介護・障害福祉に関連する諸制度、保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律等) ・看護に関連する諸制度と看護管理の関係性 (診療報酬・介護報酬・保健師助産師看護師法等と看護管理) ・実践例から学ぶ看護管理への諸制度の活用 (診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬を活用した体制整備、基金等を活用した研修受講支援 等) ・政策実現プロセスの基本と看護管理者の役割 ・実践例から学ぶ現場の状況を解決・改善するための仕組みづくり	・看護に関する制度を看護管理に 活かしている実践 (処遇改善・人員配置 等) ・政策実現プロセスと看護管理者 の役割の実例	・JNAの政策提言/厚生労働省の看護政策/自県の看護政策を1つテーマとする ・事前に情報収集した上で、GWで自組織の看護に及ぼす影響について 検討	9	6	3		診療報酬・介護報酬とは、保助看法、人確法、指針、医療法政策決定過程(本会OD推奨)
★	7-1	組織の変革	創造する能力	組織の改革に必要な態度および基礎知識を獲得する	・組織変革の必要性 ・組織変革のフレームワークとプロセス ・組織変革プロセスの実践	・組織変革に取り組んだ看護管理 者の実践事例 (できれば、病院以外も含む)	・自組織の現状分析から解決策の検討	9	3	6		なし
★	7-2	地域のニーズに合わせたサービスの創造		自組織と地域のニーズを理解し、サービスの創造について考えることができる	・地域のヘルスケアニーズと看護を取り巻く動向 (看護提供体制・法制度、対象者の動向、看護業務、教育) ・ヘルスケアサービス創造の考え方 (地域のニーズに合わせてサービスを創造するために必要な知識) ・地域におけるヘルスケアサービス創造の方法と事例	・医療計画等に基づく地域の看護 資源の現状と課題 ・新たなサービスを創造した事例 (実践者)	・自組織の所属する地域のニーズとサービスの現状分析	9	3	6		保健・医療・福祉制度、地域共生社会、地域包括ケアシステム、医療計画
								105	52	53		

2026年3月24日　日本看護協会　認定部